

# News Release

平成30年10月25日  
 独立行政法人製品評価技術基盤機構  
 N I T E ( ナ イ ト )  
 東 北 支 所

## 「長期使用製品安全点検制度」をご存じですか？ ～古い製品は今すぐ点検を～ (東北版資料)

### 1. 事故の発生状況

NITE(ナイト)では、特定保守製品の事故<sup>※1</sup>が、製品事故情報<sup>※2</sup>として2013年度から2017年度までの5年間に634件<sup>※3</sup>通知されました。このうち10年以上使用した製品による事故は383件発生しています。

東北地方6県(青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県)では5年間に51件の事故が通知されており、10年以上使用した製品による事故は28件発生し、拡大被害に至った事故は19件、製品破損事故が8件発生しています。

表1 特定保守製品で10年以上使用した製品による事故の県別の年度別事故発生件数

発生年度 \ 発生県	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	合計
2013年度	3	0	1	2	0	1	7
2014年度	1	2	2	1	2	2	10
2015年度	2	1	1	3	0	1	8
2016年度	0	0	0	1	0	0	1
2017年度	1	1	0	0	0	0	2
合 計	7	4	4	7	2	4	28

表2 特定保守製品で10年以上使用した製品による事故の県別の被害状況別事故発生件数

被害状況 \ 発生県	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	合計
死亡	0	0	0	0	0	0	0
重傷	0	0	0	0	0	0	0
軽傷	0	1	0	0	0	0	1
拡大被害	7	2	3	4	1	2	19
製品破損	0	1	1	3	1	2	8
被害なし	0	0	0	0	0	0	0
合 計	7	4	4	7	2	4	28

表3 特定保守製品で10年以上使用した製品による事故の県別の事故原因区分別発生件数

原因区分		発生県						合計
		青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	
製品に起因する事故	A:設計、製造又は表示等に問題があったもの	0	1	0	0	1	1	3
	B:製品及び使い方に問題があったもの	0	0	0	0	0	0	0
	C:経年劣化によるもの	1	0	1	2	0	1	5
	G3:製品起因ではあるが、その原因が不明のもの	1	0	1	2	0	1	5
製品に起因しない事故	D:施工、修理、又は輸送等に問題があったもの	0	0	0	0	0	1	1
	E:誤使用や不注意によるもの	3	1	0	1	0	0	5
	F:その他製品に起因しないもの	0	1	0	0	1	0	2
G1、G2:原因不明のもの		1	0	2	1	0	0	4
H:調査中のもの		1	1	0	1	0	0	3
合計		7	4	4	7	2	4	28

- (※1) 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報（被害なし）を含む。
- (※2) 長期使用製品安全点検制度の施行以前に製造・輸入された特定保守製品に該当する製品の事故も含む。
- (※3) 重複、対象外情報を除いた事故発生件数。



## 2. 主な事故事例

### ○2015年5月31日(宮城県、年齢不明 男性、製品破損)

事故内容:石油給湯機を焼損する火災が発生した。

事故原因:当該製品は、長期使用(24年以上)により燃焼筒が腐食し穴が空き、何らかの原因により燃焼ガスが、燃料供給経路のパッキン部の劣化により漏れ出した灯油に引火し、出火したものと推定される。

### ○2015年2月5日(福島県、60代女性、拡大被害)

事故内容:火災報知器が鳴動したため確認すると、ガスふろがま及び周辺を焼損する火災が発生していた。

事故原因:当該製品は、長期使用(25年)により、操作シャフト部のパッキンが劣化したため内部に水が浸入し、操作シャフト部直下のガス管に滴下したことにより腐食して穴が空き、バーナー部の火が漏洩したガスに引火し、出火したものと推定される。

### ○2014年11月30日(青森県、40代男性、拡大被害)

事故内容:給湯機付ふろがまを使用中、建物を全焼する火災が発生した。

事故原因:当該製品の長期使用(31年)により、燃料配管接続部のねじが緩み灯油が漏れ、ふろがまバーナーの着火不良等によるバックファイヤーにより、ファン開口部から火炎が出たため、漏れた灯油に引火し出火したものと推定される。

### ○2014年1月15日(秋田県、70代女性、拡大被害)

事故内容:異臭がしたため確認すると、石油給湯機及び周辺を焼損する火災が発生していた。

事故原因:当該製品は長期使用(約20年)により、バーナーノズルの噴霧不良等による燃焼不良や着火不良が生じたと考えられる。そのため、燃焼室内の残留物に未燃灯油が浸み込み引火し、送風機の給気口からバーナーケース内に炎が漏れ内部配線等に着火し出火したものと推定される。

### 3. 特定保守製品の事故の実験映像について

特定保守製品の事故の実験映像に関しまして、写真及びムービーをご希望の場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構+niteロゴ」としてください。

以上

#### 【編集人のつぶやき】

「特定保守製品」って知ってますか？

経年劣化により重大な事故が発生する恐れが高い製品で、9品目指定されています。2009年には「長期使用製品安全点検制度」が設けられ、新たに対象の製品を購入した方には所有者情報を登録することが求められます。

でも、登録率が高くないんです！  
事故を未然に防ぐために、登録して点検を受けましょう！！

(本件に関する問い合わせ先)

〒983-0833 宮城県仙台市宮城野区東仙台 4-5-18

ナイト  
独立行政法人製品評価技術基盤機構(略称:NITE)  
東北支所 業務課

担当:菊地(きくち)、齋藤(さいとう)、福井(ふくい)  
電話:022-256-6423

NITE  
ホームページ



YouTube  
公式チャンネル



Twitter  
公式アカウント

